

廃棄物・リサイクル ～ごみを捨てるから、再使用・再利用へ～



リサイクルマークを考えよう ～捨てればごみ 分ければ資源～

対象	小学生	実施方法	講話+体験
参加可能人数	30人程度	所要時間	60分
ねらい	ごみの中には資源として新しいものに生まれ変わるもの、有効活用できるものがあることを知り、「家庭からでのごみを減らす」「分別する」「再使用する方法を考える」「リサイクルする」など、地球環境を守るために私たちにできることを楽しく学びます。そして、家庭でも正しいごみの分別ができるよう実践につなげます。		
内容	<p>イラストカードを使ったゲームで遊びながら、「ごみを減らす」「もったいない・くり返して使う」「リサイクルする」などの3Rについて学び、地球環境を守るために「私たちにできること」を“合言葉”として覚えます。</p> <p>また、日常生活でよく目にする「リサイクルマーク」について説明し、資源ごみがリサイクルされると、どんなものに生まれ変わるのかを実物を使って紹介します。そして、一人一人が、お菓子などの包装、空き缶やペットボトルなどから「リサイクルマーク」を探し、正しいごみの分別を体験します。</p>		
講師からのメッセージ	ごみを減らすことはもちろん、くり返して使うことや再生利用することなど、地球環境を守るために資源を大切にすることの重要性について、子どもたちに伝えたいです。		
講座を受けての体験談	いままで、自分たちがいかに「いい加減にごみを捨てていたか」を改めて知ることができました。正しい分別に心がけたいです。		



牛乳パックでリサイクル工作をしよう



対象	小学校低学年～一般	実施方法	体験
参加可能人数	30人程度	所要時間	90分
ねらい	ごみの中には資源として新しいものに生まれ変わるもの、有効活用できるものがあることを知り、リサイクルすることの大切さについて楽しく学びます。		
内容	<p>普段の生活の中で、“資源としてリサイクルできるもの”まで、“ごみ”として捨ててしまっているかもしれません。資源ごみがリサイクルされると、どんなものに生まれ変わるのかなどを紹介し、「ごみ分別」や「リサイクル」の大切さについて、子どもたちにもわかりやすく説明します。</p> <p>使用済みの牛乳パックを使って、リサイクル工作をします。「キュービックパズル」「フリスビー」「野球帽」などを作ることができます。楽しく工作し、リサイクルについて考えましょう。</p>		
講師からのメッセージ	捨てればごみになるものも、正しく分別すれば資源となります。リサイクルすることで、新しいものになります。		
講座を受けての体験談	牛乳パックの工作は子どもでも簡単につくることができ、楽しめました。		
備考	リサイクル工作は作るものによって、牛乳パックの必要枚数が異なります。		



リサイクル手芸を楽しもう ～①ネクタイでコサージュとネックレスづくり②マイ箸袋づくり～



対象	①一般 ②小学校高学年～一般	実施方法	体験
参加可能人数	20人程度	所要時間	①120分/②60分
ねらい	「モノを大事に使うこと」の大切さを知り、リサイクル手芸(リフォーム)を楽しみます。モノをすぐに捨ててしまうのではなく、工夫次第でまだまだ使えるものがあります。「何かに使えないかな?」と考え、新しいモノに生まれ変わらせます。		
内容	次の内容から選んでください。		
	<p>①ネクタイでコサージュとネックレスづくり(所要時間120分)※材料費が必要 家で眠っている「ネクタイ」を使って、「薔薇のコサージュ」と「ネックレス」を作ります。ネクタイは絹製のものが多く、使わないからと言ってすぐに捨ててしまうのは“もったいない”です。ネクタイをコサージュとネックレスに生まれ変わらせ、おしゃれに生かしてみませんか?</p> <p>②マイ箸袋づくり(所要時間60分) 余り布やハンカチを使って、「マイ箸袋」を作ります。マイ箸を持ち歩くことは、外食での割り箸の利用を減らし“ごみを減量すること”になります。また、過剰伐採から“森林を守ること”にもなります。海外産の割り箸は、国産の割り箸のように間伐材を使用せず、割り箸を生産するために伐採された木材を使用しています。普段使用している割り箸の多くは、海外から輸入されています。ごみの減量・森林資源の保全の観点から、「マイ箸袋」を作り、「マイ箸」を持ってみませんか?「マイ箸袋」は、小学生でも簡単に作ることができます。</p> <p>上記以外にも、壊れた傘の布を利用して「マイバッグ」や「リュックサック」、「エプロン」などを作ることができます(この体験をする場合は“ミシン”が必要です)。</p>		
講師からのメッセージ	使えなくなったからといって、すぐに“もの”を捨ててしまうのではなく、そのものに“新しい命を与えたい”という思いで、さまざまなものを生まれ変わらせています。		
講座を受けての体験談	これまで、まだ使えるものでも簡単に捨てていました。これからは、ものを捨てる前に「何かに利用できないか?」を日ごろから考えてみようと思います。		
備考	ネクタイでコサージュとネックレスづくりは、材料費(1人当たり400円程度)が必要です。		



コラム① 3Rを意識していますか?

3R(スリーアール)とは、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3つのR(アール)の総称で、ごみの量を減らし、限りのある資源を大切に使う「循環型社会」をつくるためのキーワードです。

● 1つめのR(リデュース)とは、物を大切に使い、ごみを減らすことです。

- ・つめかえのできる製品を選んで買う
- ・買い物にはマイバッグを持参する

● 2つめのR(リユース)とは、使える物は、繰り返し使うことです。

- ・マイはしを持ち歩いて使う
- ・いらなくなったものは捨てずに必要な人にゆずる

● 3つめのR(リサイクル)とは、ごみを資源として再び利用することです。

- ・古新聞や古紙を資源回収に出す
- ・リサイクルボックスでごみを分別する

